



しばた議会だより



(三ヶ屋敷子ども会育成会)

もっと高く 大空へ



- 12月会議
 - 教育と住環境の更なる整備・補正予算 2~3
 - 条例制定・意見書・議案審議結果一覧など 4~5
- ここが聞きたい 16人の議員が一般質問 6~14
- 常任委員会リポート 15
- 若者の意見が聞きたい(柴田高校との団体懇談会) 16~17
- 議会と話そう!(一般懇談会報告) 18~19
- 常任委員会行政視察報告 20~21
- 追跡あれはどうなった「地域おこし協力隊」 22~23
- あなたの一言 (鈴木 すすき 久雄 ひさおさん) 24

なる整備 船岡小学校大規模改造追加工事 北船岡町営住宅4号棟新築工事

質疑 エレベーターが設置されている。基準はあるのか。
答弁 高齢者への対応、体の不自由な方のための住宅であることから、全室をバリアフリーにする。公営住宅基準でも、3階以上にエレベーターを設置することができる。と明記されている。

新たに4号棟29戸整備へ

北船岡町営住宅4号棟は、3号棟の南側に新築するものです。本工事は、建築工事、機械設備工事、電気設備工事に分離発注し、30年12月の完成を目指し工事が行われます。

12月会議は、12月4日から7日までの日程で開催されました。今回の会議では、専決処分の報告のあと、条例制定1件・改正1件、平成28年度船岡小学校大規模改造工事の請負変更契約、平成29年度二本杉町営住宅建替事業北船岡町営住宅4号棟新築工事請負契約、ふるさと柴田応援推進事業などの一般会計補正予算、特別会計補正予算、意見書案2件について審議した結果、原案のとおり可決しました。一般質問は、16人の議員が行い、項目は31件でした。

区分	契約額	整備戸数	
建築工事	6億8,040万円	1LDK	12戸
機械設備工事	1億 854万円	2LDK	8戸
電気設備工事	7,430万4千円	3LDK	9戸
合計	8億6,324万4千円	合計	29戸



4号棟イメージ図

補正予算

一般会計補正予算

補正予算の主な事業	補正予算額
ふるさと柴田応援推進事業 (返礼品や業務委託、決済システム利用料など)	5,114万円
障害者総合支援事業 (障害福祉サービス給付費及び障害児給付費など)	6,293万円
児童福祉総務費 (仮柴田放課後児童クラブ開設に向けた改修費など)	227万円
都市公園等維持管理事業 (船岡城址公園の街灯整備、千桜公園の園路整備)	730万円
土木施設災害復旧事業 (台風21号により被災した河川や道路の災害復旧)	3,188万円

平成29年度補正予算(12月会議)

会計区分	補正額	補正後
一般会計	2億1,083万円	119億1,008万円
特別会計	国民健康保険事業	49億3,315万円
	公共下水道事業	15億3,397万円
	介護保険	29億7,079万円
	後期高齢者医療	3億9,387万円
	水道事業会計	11億7,339万円

平成29年度
12月会議

教育と住環境の更

屋上防水改修など追加973万円

総額2億2,573万円

船岡小学校大規模改造工事の主な変更内容は、北校舎の内外壁のひび割れなどの補修延長や北校舎棟屋上の老朽化している手すりの撤去、屋上防水改修仕様変更のほか、教室の内装工事に当たり、窓台の合板張り付け改修仕様の変更を行うものです。

質疑 内外壁のひび割れの補修仕様は。

答弁 高圧洗浄できれいにして、塗装する前にひび割れ部分をなくす形にして塗装をする。

質疑 屋上にある手すり撤去の理由は。防災上も使わないからか。

答弁 2階の屋上部分は子どもたちが出入りすることもなく、老朽化していることから撤去する。また、防水工事をする上で、構築物がない方が防水機能が長持ちする。

質疑 屋上の防水改修を、絶縁工法に変えた理由は。

答弁 従来の密着工法から絶縁工法にすると、今後のことを考えた場合コストが安く済む。ランニングコスト面からも有利と考える。

質疑 教室の窓台と腰壁をラワン合板で張る理由は。

答弁 下地の状態が悪く塗装のみでは、けがも心配されることから、一度ラワン合板を張り、さらにメラミン合板を張る。



大規模改造が進む船岡小学校

主な質疑

ごみの減量化

質疑 ストックヤードの設置とごみ減量の関連性は。

答弁 ごみの有料化に伴う減量と、ストックヤードの影響による減量がある。

ふるさと納税

質疑 ふるさと柴田応援寄附金の11月末での状況は。

答弁 寄附件数は2千740件、金額は約4千960万円になる。

太陽の村

質疑 らぼるの森の看板の設置場所は。

答弁 柴田パイパス西船迫交差点、本船迫下町の入口及び羽山神社の手前に設置する。

柴田町給食センター

質疑 給食センターの需用費の内訳は。

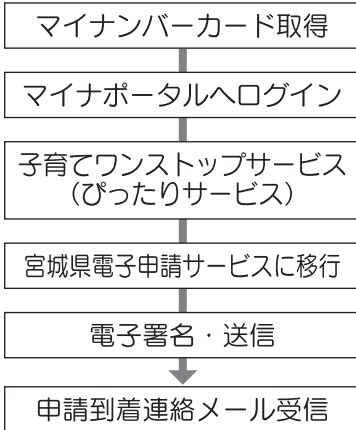
答弁 調理機器の修繕及び食器食缶消毒保管庫の電気料になる。

条例制定

子育てワンストップサービス (ぴったりサービス) 1月開始

マイナンバーカードを利用して、オンラインで子育て関連の手続き（電子申請）ができます。

申請の流れ



申請に必要なもの

- マイナンバーカード
- インターネットに接続できるパソコン（マイナポータルアプリケーションソフトのインストールが必要）
- ICカードリーダライタ

対象手続き

- 1月1日より開始
- 児童手当に関するもの
 - 妊娠の届け出
 - 児童手当の現状届など
- 7月開始予定
- 保育施設利用など

29年11月から、国のオンラインサービス（マイナポータル）の本格運用が始まりました。それに伴い、オンラインによる行政手続きを可能にするための共通事項を定める条例を制定しました。

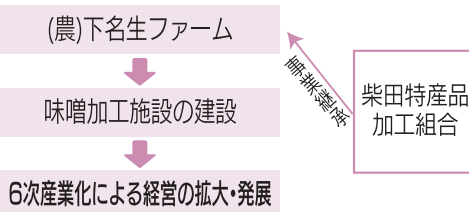
味噌など農産加工品の製造・販売を行う施設・機械などの整備に関し、一部補助し支援します。下名生ファームが、柴田町特産品加工組合から味噌づくり事業を引き継ぐこととなります。

補正予算

味噌加工施設の建設に877万8千円増額

対象経費	
総事業費	4,103万7千円
県補助対象事業費	3,511万4千円
町補助（県補助事業の1/4）	
町補助金	877万8千円

地域アグリビジネス支援事業



条例改正

柴田小学校に放課後児童クラブ開設

保護者の就労と子育ての両立を支援することから、柴田小学校区に「柴田放課後児童クラブ」が開設します。それに伴い、放課後児童クラブ条例を一部改正しました。

開設日	平成30年4月1日
募集人数	15人



全小学校区に放課後児童クラブ開設

意見書 可決

◎核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

☆意見書の趣旨

政府には、核兵器のない世界を目指してリーダーシップをとり、核兵器を持つ国々と持たない国々の橋渡し役を務めるとともに、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約を一日も早く署名・批准すること。

◎介護福祉施策の充実を求める意見書

☆意見書の趣旨

介護従事者の待遇・労働環境の改善を進め、介護事業の健全な運営が成り立つよう基本報酬の底上げを図ることなど。

（いずれも全会一致）

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●平成29年度12月会議の出欠状況一覧

区分	主な内容	月日	出席者数 △	出欠状況																
				森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕
本会議	町政報告、一般質問	12.4	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.5	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	12.6	18	○	○	○	○	遅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例、契約案件、補正予算、意見書	12.7	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

●平成29年度12月会議議案などの審議結果

件名	議決月日	表決者数 △	賛成 △	議決結果	表決状況															
					森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	齋藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子
柴田町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
柴田町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成28年度船岡小学校大規模改修工事(建築工事)(債務負担行為)(繰越明許)請負変更契約について	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度二本杉町宮住宅建替事業北船岡町宮住宅4号棟新築工事(建築工事)(債務負担行為)請負契約について	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度二本杉町宮住宅建替事業北船岡町宮住宅4号棟新築工事(機械設備工事)(債務負担行為)請負契約について	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度二本杉町宮住宅建替事業北船岡町宮住宅4号棟新築工事(電気設備工事)(債務負担行為)請負契約について	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町一般会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町介護保険特別会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町水道事業会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成29年度柴田町一般会計補正予算	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
介護福祉施策の充実を求める意見書	12.7	17	17	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。

※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

平成29年度 柴田町議会予定表

(2月1日現在)

2月	6日	仙南・亶理地方町議会議員合同研修会
	15日	2月会議
	19日~21日	一般質問受付
	27日	議会運営委員会
3月	5~16日	3月会議
	16日	議会広報常任委員会
	30日	議会広報常任委員会

※随時各常任委員会開催

柴田町議会 30年史 60年史 を販売しています

品名	単位	単価
30年史	1冊	2,000円
60年史	1冊	3,500円
30年・60年史セット	1組	5,000円

柴田町議会の歴史を語る資料として販売しています。なお、柴田町図書館などでも閲覧できます。

問い合わせ先 議会事務局 TEL55-2136

一般質問



吉田和夫 議員

Q 学校や避難所施設のトイレを100%洋式化へ

A 今後計画的に洋式化を進める



洋式化が待たれる学校トイレ

問 本町の小中学校のトイレ洋式化率は。

町長 平成29年11月現在、小中学校トイレの洋式化率は66・0割である。

問 災害時に避難所となる体育館や生涯学習センターの洋式化率は。

町長 小中学校体育館の洋式化率は37・8割。また、槻木体育館、船岡

体育館の洋式化率は、16・7割。生涯学習センター、公民館など6施設の洋式化率は50・6割となっている。

問 生涯学習センターの洋式化計画は。

生涯学習課長 洋式化率が一番低いのは船迫生涯学習センターで28・6割である。低いところから順次計画を立てて改修する。

問 体育館トイレの段差をなくすため、学校施設環境改善交付金だけでなく、総務省の予算なども検討しては。

教育総務課長 交付金を活用し、バリアフリー化も含め、体育館トイレも改修計画を立てていきたい。

問 学校や避難所のトイレの洋式化に向けた目標設定は。

町長 子どもたちにとり、毎日の主な生活の場となる学校が快適で安心できる環境となるよう校舎、体育館などのトイレ洋式化率100割を目指し、

国の学校施設環境改善交付金を活用し進める。体育館や生涯学習センターは、災害時において地域の方々の避難所として利用するので、今後計画的に洋式化を進める。

災害時における情報の収集、分析の手段として、SNSを活用することにより、住民に最新の災害情報を届けることができるのではないかと。

問 23年度から開始された柴田町メール配信サービスの登録状況は。

町長 29年11月20日時点での登録数は3千766件。配信サービスの活用状況は。

町長 Jアラートと連動して自動配信するものと手動で配信するものが

ある。避難準備や防災訓練の情報を発信している。

問 災害時におけるSNSの活用を考えては。

町長 SNSのメリットは、狭い地域に限定した情報や即時性のある情報が収集できること。デメリットは、デマや誤報が発信され、信頼性が十分でないことがある。

今後、災害時におけるSNSの活用について、先進事例を参考にし検討していく。

問 総務省では「防災等に資するWiFi環境の整備」を出している。避難所にWiFi環境を整備しては。

町長 熊本地震の際、無料のWiFiを活用し、無料公衆無線LANが避難所などに設置された。災害時にはこのように、無料となるWiFiの支援も受けられることから、今後必要性について改めて検討していく。

Q 災害時の情報発信にSNSの活用を

A 先進事例を参考にし、検討していく



平間奈緒美 議員



みなさん登録しましょう。柴田町メール配信サービス



舟山 彰 議員

Q 老朽化した公共施設の
建て替えは複合化に

A 諸事情を踏まえ個別計画の中
で検討する



築47年の船岡公民館

9月18日の河北新報に次のような記事が載っていた。「仙台市は老朽化が進む公共施設を効率的に建て替えるため、モデル事業として泉区将監地区の市民センターなど、隣り合う3施設の複合化に向けた検討を始めた。個別に建て替えるよりコストが抑えられる利点がある。」

問 本町は公共施設等総合管理計画を策定したばかりで、これから個別計画に移る段階である。

仙台市の例のように複合化を検討できるケースがあるのではないかと。町長が策定した公共施設等総合管理計画では、施設総量を削減する上で、既存施設の複合化、統合化等についても検討することとしている。図書館と公民館や児童館、公民館と児童館などの合築が想定される。

問 仙台市の財政企画課長は「人口減少社会で各施設を複数持つ必要性は低い。複合化は財政

負担を抑えながら、市民サービスを充実させることができる方法の一つ」と話している。本町はどう考えるか。

町長 複合化にはランニングコストの低減化を図られるなどのメリットがあるが、複合化によって規模が大きくなり、費用が多額になるなど課題も多い。公共施設の複合化については、これらの事情を踏まえ今後策定を予定している個別施設計画の中で十分に検討する。



加藤 滋 議員

Q 榎木の
ショッピングセンター前の
事故防止対策を

A 県と警察立ち会いのもと
現場確認して対策を協議



朝夕混雑する県道52号線

町内の交通事故防止対策を問う。

問 通学路の指定やその安全確保はどのようにしているのか。

町長 児童生徒の通学路の安全を確保するため、PTAや地域の意見を聞きながら、学校が決定し町教育委員会で承認する。各小学校では、通学路を中心とした危険箇所マップを作成しており、随時見直しを行い、児童や家族に周知し安全対策を行っている。

問 小学生を交通事故から守るため、町内では交通指導隊や各地の見守り隊が活躍しているが、その状況は。

町長 24人の交通指導隊員が、8カ所で街頭指導を実施している。28年から11月末までに、5人の隊員が加入した。見守り隊は、登校時や下校時に、危険な交差点や場所でもたちを見守っている。現在293人の登録がある。

町長 交通安全に必要な整備は、道路管理者である県と警察の立ち会いのもと、現場確認を行い対策について協議する。町としては、注意喚起看板などの設置を考える。



高藤義勝 議員

Q 広域連携による
ナラ枯れ対策が
不可欠では

A 管内の市町の中で協議し、
県に働きかけをする



伐倒処置した被害木

問 ナラ枯れの被害状況
はどうなっているか。

町長 26年に被害が確認さ
れて以来、被害木総
数は293本である。防除対
策を行ったのは242本で、
残りの被害木51本は30年
度以降の対策となる。

問 本町のナラ枯れ被害
エリアはどこまで拡
大しているか。

農政課長 四日市場の山根地区
から入間田、葉坂、
成田、船迫と全体的に広
がっている。

問 伐倒処置した被害木
の今後の処理方法は、

農政課長 その場に置いておく
のは問題なので、運
び出したいが、かなりの
費用になる。方法は今後
検討していく。

問 防除対策に今年度408
万円の予算処置だが、
不十分ではないか。

農政課長 27年度までは県の全
額補助だったが、県
内各地に被害が広がった
こともあり、28年度から
2分の1補助になった。

管内の課長会議の中で、
県に予算増額の措置を要
請していく。

問 ナラ枯れが仙南広域
で発生していること
を踏まえて、広域連携に
よる対策が不可欠では。

農政課長 今までは角田市、白
石市等と協議してき
た。今後は、管内の市町
の中で協議して、県に働
きかけていく。

問 2次災害防止のため
の周知活動は。

農政課長 今後はホームページ、
お知らせ版などでの
周知とともに周知看板な
どの設置を行う。

台風21号による風水害
が各地で起きた。その被
害について問う。

問 本船迫館山地区の土
砂崩れは。

町長 土砂4トダンプ10台
サツキやヒバなど4
トダンプ2台分の量があ
た。土砂を撤去したのち、
不安定な箇所は土砂も全
て撤去した。後は安定し
た状況が続いている。

問 釜ヶ入地区が道路冠
水で一時孤立した。

道路のかさ上げ又は排水
機の設置などの考えはな

いか。

町長 船迫14号線と平行し
て流れる平堀に草刈
りした後の草や稲わらが
大量に流れ込み、流れを
阻害したことが悪影響を
及ぼし、水位上昇を招い
て、冠水したと思われる。

道路冠水は平堀の流下能
力の低下が主な原因であ
ると考えられるため、管
理者である柴田町土地改
良区と対応を検討する必
要がある。

問 剣水集会所前の町道
下名生9号線は、雨

水対策による道路かさ上
げ工事でガードレール
(防護柵)が低くなってい
る。通行者が車とすれ違
うときに転落するおそれ
がある。早急に修繕すべ
きでは。

都市建設課長 防護柵の設置基準を、
下限値ではあるが満
たしている。看板を設置
するなどの啓発は必要と
思っている。

Q 台風21号の
被害対策は

A 今後とも大雨時には
注意深く注視する



安藤義憲 議員



安全対策が望まれる剣水集会所前



森 淑子 議員

Q 公共施設の
トイレを
利用しやすく

A 来年度予算化して改修する



利用しにくいトイレ（役場庁舎1階）

問 船岡公民館のトイレは奥まったところにあるため、昼間でも薄暗い。照明をふやせないか。

町長 LEDライトなどで明るい照明にする。

問 役場庁舎はさまざまの人が利用する場所なのに、洋式トイレがほとんどでない。また、障がい者用トイレはドアがアコーデオンカーテンのため、通路から出入りが見える。町民ホール脇のトイレを洋式化し、多機能トイレの設置を。

町長 庁舎は高齢者や身体の不自由な方、小さな子ども連れなど多くの方が訪れる場所である。誰もが利用しやすいトイレになるよう、来年度に改修する。

問 船迫生涯学習センターに一基ある洋式トイレは障がい者兼用トイレで、仕切りがカーテンになっている。カーテンをドアにし、また洋式トイレをふやすか、多機能トイレを設置してはどうか。

町長 町の地域防災計画で指定避難所となっている生涯学習センターは緊急防災・減災事業債が使えることが分かった。まず、来年度船迫生涯学習センターのトイレの全面改修を行う。

また槻木生涯学習センター、船岡生涯学習センターも額によっては来年度に予算化することを検討する。



秋本好則 議員

Q 槻木の道路に
1.5車線の整備を

A 具体的な場所を指定されれば検討する



白幡橋に向かう旧国道4号

問 槻木の旧4号の歩道は未整備である。整備計画はあるのか。

町長 白幡地区など地元の協議で、総意を集約し、要望されれば、都市計画事業で進めることは可能。

問 一定の条件下では1.5車線の道路整備をし、歩道のカラー舗装で自動車への注意喚起を図った事例がある。導入は。

町長 具体的な場所を指定されれば検討する。

問 札幌市の例では縁石を設けず、段差のない歩行者や車にも楽な道を作っているが検討は。

都市建設課長 新築通りは低いタイプの縁石を使っている。手で下げられる可動式車両止めの併用も考えられ、一概には言えない。

問 旧4号は交通量もあり、通行台数基準から1.5車線化は難しい。町道の交通量は少ないので改良できるのでは。

都市建設課長 歩道部分をしっかりと確保する考え方は重要と思う。

問 1.5車線の改修にはハンブやカラー舗装、狭窄部を線で視覚的に訴える手法もあるが。

都市建設課長 大河原町では通学路をカラー舗装し、歩道と車道部分を分けている。教育委員会との相談になると思う。

問 県と県道部分の歩道整備の協議は。

都市建設課長 打ち合わせはしていない。白幡のガソリンスタンドから白幡橋に向かっている歩道は、来年の施工を考慮中。

問 図書館には「輝き続けるまちを創る」という使命がある。よりよい明日を目指すための広場となる図書館が、早急に必要な。図書館の必要性について、まちづくりの観点から質問する。

町長 図書館は町の交流拠点として、また都市に必要な標準装備と位置付けている。埋もれた地域資源の再発見や付加価値の創造、新商品の開発やまちおこしのヒントが得られる所である。

Q 明日をめざすための広場となる図書館の建設を



白内恵美子 議員

A 建設に向け基本的な考え方を整理中



柴田町図書館子どもの本コーナー

問 人材育成の観点からは。

町長 新たなビジネスを起す人材育成や、新たなまちづくりの担い手が育つ場所になり得る。

問 福祉の観点からは。

町長 高齢者の生涯学習の場や居場所として、さらに世代間交流の場として、今後ますます必要な施設と捉えている。

問 図書館総合展のパネル討論の中で、岡山県瀬戸内市の武久市長は「図書館は人をつくる。

だから、そこに財源を付ける。」と語っていた。それほど大きくなくともよいかから、みんなが集まる広場となる図書館の建設が早急に必要では。

町長 現在、新図書館建設に向けて、立地場所や大きさ、資金計画や補助金などの活用について、基本的な考え方を整理している。建設するには、森林・林業再生基盤づくり交付金を確保するのが一番近道だと考える。

Q 町なかにベンチの設置を



桜場政行 議員

A まちづくりの観点から進めるべきである



歩道にベンチが欲しい新栄通り線

問 歩道に、道路管理者としてベンチの道路占用許可をすることは可能か。

町長 船岡駅前通りや新栄通線など、歩道幅員が3.5以上確保されている歩道には、道路占用許可は可能である。

問 歩道の役割は、歩くための道だけと考えているか。

町長 歩行者が利用する、通行する歩行者用の道のこととなっているが、時にはふれあいの場、出

会いの場といった役割を担っている。また、緑豊かな街路樹が植栽されている歩道や街角のポケットパークは、オープンスペースとして町民の憩いの場となりえる。これらの町の発展には必要な公共施設である。

問 本気で座ってほしいベンチの設置を商工会とともに取り組めないか。

町長 商店会や商工会にも、ベンチを設置することの必要性を理解しても

らい、商店会の活性化につながることであれば支援を考えていく。なお、高齢者に優しいまちづくりを進めるためにも、街角にポケットパークを整備し、ベンチで休める憩いの場づくりが重要だと考える。今後の商店街の発展のためにも、大きなまちづくりの観点からベンチの設置をみんな考えていきたい。

一般質問



水戸義裕 議員

Q 総合防災訓練参加者からの意見聴取はしているか

A 今後、区を通して確認したい



懸命に救助訓練をする自衛隊員

問 総合防災訓練をどう評価しているか。
町長 全体的な訓練の評価としてよかったと捉えている。
問 一般町民がいざというときに、どれだけ役に立つか非常に疑問だが、どう考えるか。
危機管理監 確かに参加者を見るだけになっている。体験できるものがあれば追加していきたい。

問 今後、区を通して確認したい。
危機管理監 メール配信が始まったのは何年か。
まちづくり政策課長 23年8月から開始した。
問 6年たつても3千800の登録件数。メール配信に力を入れていないのでは。
まちづくり政策課長 登録者数は前年に比べ643件増である。

問 参加意識を持ってもらうことも大事で町民の参加を促すべきでは。本腰を入れてお知らせしていきたい。
副町長 特にメール登録しなくても流せるという状況が出てきており、その辺を承知しながら進めている。
教育長 子どもの防災教育も当然必要と思うが、どのような協力の仕方ができるのかを吟味し、参加していきたい。



佐々木裕子 議員

Q 生活道路や通学路の安全確保対策は

A 関係機関の協力を得ながら、安全確保に取り組む



自転車安全利用のキャンペーン

問 平成25年度道路交通法改正後、自転車走行の指導は継続しているか。
町長 柴田高校前での街頭キャンペーンや、出前講座による高齢者対象に自転車の安全利用についての呼びかけを行っている。各学校では、交通安全教室を開催。安全な乗り方や点検などを実施し、正しい交通道徳を身につけるよう継続している。

問 事例があり、自転車通学の子どものみでも保険加入の有無を把握すべきでは。
教育総務課長 賠償責任などが生じる部分も含め、学校で保護者に保険などについて注意喚起する。
問 地域学校安全指導員「スクールガード・リーダー」の配置は。
教育総務課長 警察OB1人を委嘱している。

問 見守り隊の活動にあたり、ジャンパーを支給しては。
都市建設課長 人数も多いことから支給は難しい。今後、県には要望していく。生活道路や通学路の安全確保対策は。
町長 関係機関の協力を得ながら、通学路の点検などを実施し、安全確保に取り組む。
問 旧国道4号の通学路は、生活路としても使われている。歩道整備を県に要望しては。
都市建設課長 改めて県に要望する。

一般質問



広沢 真 議員

Q 国保県単位化でも
国保税は現状維持を

A 2年間は据え置く



国保窓口

問 国民健康保険の県単位化で町が県に納める納付金の試算が公表された。試算によると市町村の納付金総額は約636億1千万円、一方で国保税歳入総額が約518億7千万円で差額が約117億円。この差額をどうするかが問題になる。町として県に對しどのような意見を出したのか。

町長 保険料水準の統一で変動幅を大きくしないことなど、所得水準を考慮し、国保税が大きな

負担増にならないよう意見をあげている。

問 来年度以降国保税はどうなるのか。

町長 県が検討している方針に基づいて市町村が決定することになる。本町ではこれまでの4方式（所得割・資産割・均等割・平等割）から資産割を廃止する方向で検討している。3方式にした場合、状況によって保険税が増加する世帯と減少する世帯が出てくる。

健康推進課長 現在約4億円ある国民健康保険財政調整基金を充て、急激に国保税が上がらないようにする。

問 県への納付金を確保する上で、町が集めている国保税の差額がある。金額は。

税務課長 約7千700万円になる。

問 県への納付金を納める上で、足りなくなると確保するのか。

健康推進課長 制度が本格的に動き出す32年度までは、

現在約4億円ある国民健康保険財政調整基金を充て、急激に国保税が上がらないようにする。

問 船岡小学校前の歩道橋はさびて腐食が進んでいる。かなり傷みが激しいが。

町長 船岡小学校前歩道橋は建設から50年近くが経過している。これまで傷んだ箇所は修繕や、13年度には大規模な改修が行われて現在に至っている。改めて確認したところ全体にさびが発生し、部分的に塗料が剥がれている箇所や、橋上のタイヤが剥がれている箇所、階段には腐食が著しい箇所もあった。

町長 船岡小学校前の歩道橋を維持管理しているのは大河原土木事務所である。危険な状況を伝え、早急対応をお願いしたところ、「橋の上の補修は今年度中に行い、階段の腐食は来年度に補修し、また長寿命化の観点から、歩道橋全体の大規模な改修を5年以内に実施する」との回答だった。今年度は橋上のタイヤが剥がれている部分を補修する。穴があいている箇所は4月にやる。

問 階段をのぼるところに大きい穴がある。毎日生徒が歩道橋を利用している。生徒の安全を考えて整備するべきでは。

町長 船岡小学校前の歩道橋を維持管理しているのは大河原土木事務所である。危険な状況を伝え、早急対応をお願いしたところ、「橋の上の補修は今年度中に行い、階段の腐食は来年度に補修し、また長寿命化の観点から、歩道橋全体の大規模な改修を5年以内に実施する」との回答だった。今年度は橋上のタイヤが剥がれている部分を補修する。穴があいている箇所は4月にやる。

問 歩道橋に雪が積もると特に危険である。早急に取り組むべきでは。5年以内に大規模な改修を行う。町としても早急にと、お願いしている。

都市建設課長 5年以内に大規模な改修を行う。町としても早急にと、お願いしている。

Q 船岡小学校前歩道橋の整備を

A 橋上の補修は今年度中に行う



有賀光子 議員



船岡小学校前歩道橋

現代の子どもたちは、将来に希望を持たない、夢を持たない子が多いと言われている。将来、日本そしてこの町を背負っていく子どもたちが夢や希望を持って生きていけるよう、本町も家庭、学校、そして行政がしっかりとスクラムを組み、取り組んでいかなければならないと考える。そのため、重要な教育として、キャリア教育があるのでないか。



森 裕樹 議員

Q 子どもたちに夢や希望を与える事業を

A 仙台大学との共同事業で対応していく

問 本町のキャリア教育支援の内容は。
教育長 柴田町のキャリア教育支援事業は、キャリアアセシナー事業、職場体験、しばたっ子応援団など、キャリア教育につながる特色ある取り組みを行っている。
問 公益財団法人日本サッカー協会が行っているところのプロジェクト「ユメセン」という事業があるが町の認識と見解は。



JFAこころのプロジェクト

夢先生

教育長 「ユメセン」プロジェクトは、さまざまなスポーツ選手などの体験談を通して、夢を持つことや目標の実現についての大切さを伝えるすばらしい取り組みと認識している。本町においては、将来、夢や希望を持つことができる子どもたちを育むため、仙台大学と連携しながら、夢の実現についてテーマを絞った出合いの場づくりを工夫していく。



平間幸弘 議員

Q 狭い道路に待避所や表示板の新設を

A 道路状況を適切に判断し必要性を検討する



待避所がほしい町道

問 狭小道路に200〜300メートル間隔で待避所設置の計画はあるか。
都市建設課長 現在、待避所を設置する計画はない。設置するためには、公有地が一定幅あるなど条件が必要。
問 子どもたちが通学する狭小な部分に、年次の計画を立てて待避所の設置などを考えては。
教育総務課長 通学路安全推進会議を設置し、学校、PTAからの要望などを受けた箇所を、道路管理者

の都市建設課と警察などが参加し、12月18・19日に町内6小学校の通学路の安全点検を行う。その中で取り上げられた箇所に関しては、都市建設課と協議をしたい。
問 町内には車のすれ違いが困難な道路が数多くある。ドライバーがお互いに譲り合い、スムーズな通行ができるよう、対策と待避所の設置が必要では。
町長 町内には道の幅が狭く、車のすれ違いが

困難な道路が多数存在するが、待避所を設けている路線はほとんどない。町道富沢16号線道路改良区間などでは施工途中のため、臨時的な待避所を設けて供用している区間もある。今後は、道路状況などを適切に判断し、待避所の必要性を検討するほか、道路の段差注意や待避所の位置がドライバーの目につきやすい看板を設置していく。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

吉田和夫議員

- 問 槻木体育館横に常設ポンプの設置を。
- 答 雨水対策調査の結果によるが、設置する方向になると思う。

平間奈緒美議員

- 問 フィルムコミッションプロジェクトを立ち上げてはどうか。
- 答 みやぎ・しろいしフィルムコミッションとの連携を図り、撮影誘致に取り組んでいく。
- 問 電子母子健康手帳の導入を。
- 答 アプリと提携したサービス導入については、住民の要望なども考慮し、検討していく。

舟山 彰議員

- 問 雲南市や江津市のように本格的に移住、定住対策に取り組んではどうか。
- 答 雲南市や江津市は過疎地が多く、本町とは状況が違う。
- 問 町内に17基ある野外拡声装置は役に立っているのか。
- 答 区長や消防団から、住民に対して野外拡声装置を使って情報を伝達してもらっている。

加藤 滋議員

- 問 高齢者の運転免許証の自主返納は、交通事故抑止につながるのでは。
- 答 行政が促す考え方もあるが、自らの判断で今後の運転を考えることが肝要と捉えている。

安藤義憲議員

- 問 ネットによる誹謗中傷など、いじめが横行している。適切な指導をしているか。
- 答 学校と家庭が連携し、家族と一緒に使い方を決める「わが家のルールづくり」を進める。

秋本好則議員

- 問 県道岩沼蔵王線のトンネル開通後、林道雷・馬場線の維持管理はどこがするのか。
- 答 完成後は町に負担がかからないよう補修された後、本町分は町道に編入される。

白内恵美子議員

- 問 各小学校の児童生徒・保護者へ「学校いじめ防止基本方針」の公表と説明を。
- 答 年度当初の集会や学年懇談会などで説明している。ホームページ掲載を学校に依頼。
- 問 町内中学生の1,000人当たりの不登校数は、全国ワースト1の宮城県を上回る。対策は。
- 答 次年度に「子どもの心のケアハウス」開設を検討。基礎学力の補充、相談などを行う。
- 問 地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」増やすため、住民研修会の開催を。
- 答 住民の理解が重要であり、「関係人口」提唱者を講師に招いた研修会の開催を検討する。

佐々木裕子議員

- 問 下水道使用料賦課漏れの現在の徴収額及び徴収率を問う。
- 答 29年11月末現在で徴収額は523万808円。徴収率は57.47%である。

有賀光子議員

- 問 柴田町に未病センターを開設し、町民一人一人の生活習慣病の改善につなげては。
- 答 未病センターの設置は困難だが、一人一人が未病改善に向けて取り組める支援をしていく。

平間幸弘議員

- 問 空き家を活用した移住定住対策は図れないか。
- 答 移住定住対策は、移住者を受け入れたいという住民の盛り上がりで理解が不可欠である。
- 問 槻木駅、船岡駅にあるコミュニティプラザなどの空きスペースの活用を。
- 答 町在住者以外の利用拡大を図るため、町のホームページに掲載し、利用促進に努める。

所管事務調査報告書

常任委員会リポート

各常任委員会は各課の仕事を調査しています。

総務 常任委員会

平成29年11月8日～9日



土のうステーションの視察

調査内容

- ①総合防災訓練等の状況について
- ②局地冠水対策マニュアルについて
- ③槻木事務所の契約状況について

調査結果

【総務課】

- 総合防災訓練については、各参加者から反省を聴取し今後の訓練などに活用すること。
- 土のうステーションの表示を分かりやすく、見やすくすること。
- 防災意識の啓発活動の一環として町民に土のう作りの体験を。
- 災害発生が予想される際には電話が集中すること考えられることから休日・夜間において連絡が受けられる体制を構築しておくこと。

【財政課】

- 槻木事務所敷地の賃貸借契約締結に当たっては、今後の運営継続に支障が生じないように契約内容等に配慮されたい。

文教厚生 常任委員会

平成29年10月17日～18日

調査内容

- ①町内中学校の管理運営状況について
- ②学校からの要望について

調査結果

【教育総務課】

- 各中学校から要望があった次の事項について対応すること。

〈船岡中学校〉

- ・校庭排水不良の解消。
- ・校庭東側へのフェンス設置と防球ネットの修繕。

〈槻木中学校〉

- ・体育館放送設備の修繕。
- ・体育館の暗幕とカーテンレールの交換。

〈船迫中学校〉

- ・各教室の照明の増設。
- ・校庭排水不良の解消と校庭のり面の改善。
- ・体育館照明設備の修繕と体育館床の補修。



船岡中学校での現地調査

産業建設 常任委員会

平成29年10月24日～25日



ナラ枯れの現地調査

調査内容

- ①農業用水管理状況について（柴田町土地改良区）
- ②三名生排水機場しゅんせつについて
- ③ナラ枯れの被害状況と対策について
- ④有害鳥獣被害の状況と対策について
- ⑤船岡城址公園整備状況について

調査結果

【農政課】

- 用排水路の委託については、江刈り、江払いを含め適切な指導監理を。
- 三名生堀のしゅんせつについては、水害につながらないように努めること。
- ナラ枯れの抜倒駆除は、安全に配慮して行うこと。

【都市建設課】

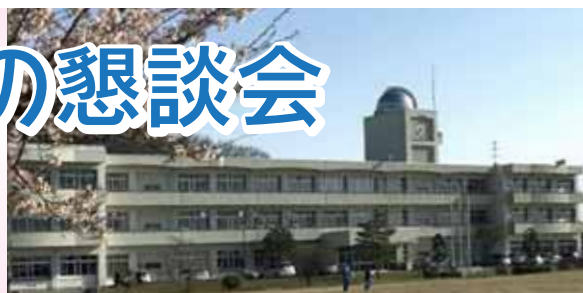
- 船岡城址公園の供養塔周辺整備については、自然環境に配慮した工事を進めること。

【商工観光課】

- 船岡城址公園山頂売店は、通年営業に向けた計画をされたい。
- 柴田町観光物産交流館は、デッキオープンの完成予想図を展示し周知やPRに努めること。

(‘ω’) / 第2回 高校生との懇談会

場 in 柴田高校 2017



「若者が地域に戻りたくなる町」

テーマ

- ①自分の住む町で誇りに思うこと、残念に思うことは何ですか。
- ②20年後、地元で暮らす、地元と関係を持ち続ける自分について想像してください。
そこではどのような仕事をしていて、どんな人々とどんな暮らしをしていますか？
- ③そんな20年後が実現するために、今取り組まなければならないことは何でしょうか？
大人に応援してもらいたいことは何でしょうか？
大人が応援できることは何でしょうか？

●開催日時
10月27日
午後1時40分～午後3時30分

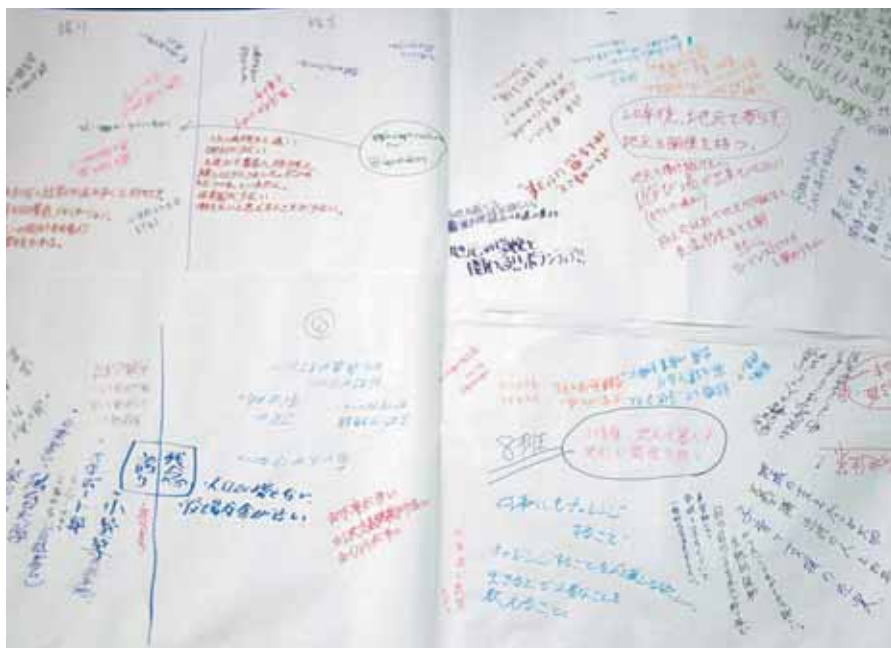
●ファシリテーター
青森中央学院大学 経営法学部 准教授
早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員 佐藤 淳氏



ところで、ワールド・カフェって…なに？

ワークショップの一つの形式で、カフェにいるようなリラックスした雰囲気（BGM・お茶・お菓子を用意）のなか、参加者が少人数（4～5人）に分かれたテーブルで自由に対話を行い、言いたい意見、出た意見をテーブルの模造紙に自由に書き込んでいきます。ときどき他のテーブルとメンバーを入れ替えながら話し合いを発展させていく形式のワークショップです。

昨年引き続きワールド・カフェスタイルのワークショップで高校生との懇談会を開催しました。
今回も、和気あいあいの雰囲気の中、若者の貴重な意見を聞くことができました。さらに、仙台大学生にも参加してもらい、高校生と議員の中間的な役割を果たしていただきました。高校生と同世代の意見を聞けたことは議会としても大変参考になりました。
また、丸森町議会でも、伊具高校との懇談会を予定しているため、参加しました。



実際に使った模造紙

当日の参加者

柴田高校3年生	37人
柴田町議員	18人
仙台大学生	18人
柴田町地域おこし協力隊員	1人
角田市議員	1人
丸森町議員	6人
計	81人

団体
懇談会

若者の意見が聞きたい 住みたい町って？ しゃべり

テーマ①：自分の町について

「誇りに思うこと」

- 蔵王、白石川、桜 ● 花のまち ● 千桜橋 ● 柴田高校 ● おいしいラーメン屋が多い ● 自衛隊がいる
- コンビニが多い ● まちなかを車で簡単に動ける ● 美人が多い ● 自然災害が少ない ● お米がおいしい

「残念に思うこと」

- スタバがない ● ゴミが多い ● 夜暗すぎる ● 大きい病院まで遠い ● 電車の本数が少ない
- 温泉がない ● 「阿武急」運賃がたけえー ● 買い物が不便
- 街灯が少なく夜道が暗い ● ゲームセンターがしょぼい



テーマ②：20年後の自分は

「どのような仕事」

- 地元の学校と関わる！ ● 美容、健康関係で地元で貢献したい
- キャリアウーマンになります ● 柴田町で働く ● 役場職員
- 公務員になる ● 美容室を開いて交流する ● 保体の教師
- イベントの司会 ● 東京進学後、地元で頑張りたい

「どんな人とどんな暮らし」

- 成人式以外で地元の同級生と交流する会を開きたい ● 草野球やソフトボールを地域の人たちとしている
- 周りの人々に支えられている ● 小学生にバレー指導をしている
- 近所の人達と年が離れていても上手に付き合っていきたい



テーマ③：20年後が実現するためには

「今取り組まなければならない一歩」

- 忙しい時こそ、他人を思いやること ● 相談できる人を探す
- 若者の集いやすい場をふやす ● 交流できる場所づくり
- 伝統、文化を引き継ぐ ● 自分でできることは積極的にする！

「大人に応援してもらいたいこと」

- 経済的支援がほしい ● 子どもが遊べる屋内施設がほしい ● 税金を下げしてほしい
- チャレンジすることを応援してほしい

「大人が応援できること」

- 困っているときは相談にのるよ ● 生活の安定 ● 地域の支えが大切 ● 生きる上で必要なことを教えて

参加者

インタビュアーから

「柴田高校生」

● 地域の問題に興味を持つことができました。
● 将来は地元の役場に入り、地域の活性化につながるような仕事がしたいです。

● 町のお祭りに年々参加する人や若者が減ってきているとの話があり、どうやったら若者にも取り組んでもらえるか考えてみたいと思います。

● 議員の皆さんから見た町や町民の皆さんのイメージも聞け、私たちの目線で話を伝えることができ、いい機会でした。

「仙台大学生」

● 柴田町や、地元、福島の、自分が今まで知らなかった町の魅力や誇りに思えるところが改めて分かりました。

● 自分の町の魅力が改めて分かりました。将来、地元に戻り、そういう町を見てみたいと思います。

29年一般議会懇談会

議会と話そう!

公共交通について考える

議会懇談会は、議会が主催しています。議会懇談会実行委員会を立ち上げ、内容、テーマなどについて検討し、実施しています。

今回より、今まで以上に議会が主体性をもって活動をする旨から、懇談会で出された質問・意見・要望等に関する回答は、各常任委員会で現地、または内容を調査確認しています。さらに、町執行部に伝えるとともに、参考意見を求め、回答を作成しています。

公共交通に関する質問

デマンドタクシーの利用状況は

質問 現在の利用状況は。

回答 延べ利用者数は、26年度1万7千869人、27年度1万7千778人、28年度1万6千546人で、28年度の1日平均利用者は68・1人となっています。

質問 当初目標に対して達成率は。

回答 当初の目標は、1日当たり80人に対する達成率は、26年度95・8割、27年度91・9割、28年度85・1割となっております。少ししています。



はなみちゃんGO

公共交通に関する質問は、議会懇談会実行委員会が回答しています。

中核病院へは

質問 デマンドタクシーはなぜ中核病院に行けないのか。

回答 運行エリアを限定して東北運輸局から営業許可を受けています。町外への運行には、タクシー事業者との合意、地域公共交通協議会等での合意を得て、一般乗合旅客自動車運送業の経営許可申請が必要となります。

運営は民間でも良いのでは

質問 デマンドタクシーの運行はタクシー会社でなければならぬのか。

回答 本町では、タクシー会社に委託しなければ困難です。

町では、事業実施主体である柴田町商工会が、東北運輸局の営業許可を受けている町内のタクシー会社に運行を委託しています。

他の町は

質問 大河原町や村田町にも同じデマンドタクシーの制度はあるのか。

回答 大河原町は「さくらつきー号」、村田町には「くらりん号」と、両町に同様の制度があります。

買い物バスを行政で

質問 以前にあったみやぎ生協の買い物バスのようなものを行政でできないか。

回答 買い物バスは民間が行うものです。そのような声を受けて検討し、実施したのが現在のデマンドタクシーです。

公共交通に関する意見・要望

各会場において出された公共交通に関する意見・要望については、町執行部に伝えるとともに、議会としても参考にします。

- 柴田町デマンドタクシーについて
 - 運行コースと所要時間を、運転手から説明してほしい。
 - 土日の運行をお願いしたい。
 - 県立がんセンターや南東北病院へも運行してほしい。
 - 運行から5年が経過したので、一度総括し町民に報告しては。
- 中核病院の利用者は大河原駅を利用することから、大河原駅、中核病院間の送迎バスの運行はできないか。
- 西住地区は生活圏が大河原で、町のデマンドタクシーは利用価値がない。
- 運転免許証の返納者に対し、足の確保ができる公共交通を考えてほしい。
- 外に出歩かない高齢者の支援を含めて考えてほしい。
- 全国の良い事例を情報として提供してほしい。

議会に関する質問・意見・要望

議員の削減は

質問 議員の2人削減はいつになるか。

回答 これまでも議員定数の削減を進めてきており、現時点で削減は考えていません。(議会運営委員会)

議会会派の活動報告を

要望 議会は現在、ユーチューブで中継されていることから、議会だよりには、各会派の研修報告や、議会以外の議員の活動も掲載した方がいいのでは。

回答 議会だよりは議会としての公務を掲載するもので、各会派の研修は、議員の自主的な活動の一つです。それぞれの議員の議会報告を参照してください。(懇談会実行委員会)

議会で採択された
請願の実施は

要望 子どもの甲状腺エコー検査を希望する町民に対し、町が年1〜2回程度、継続的に検査を実施することを求める請願が28年12月会議で採択されたが、町の判断で実行されていない。議会で採択された請願が生かされるような仕組み作りを。

回答 請願の性質として、町に対して影響力を持つが、強制はできません。請願の採択をもって、町が必ず実施しなければならぬということにはなりません。なお、町の考えとして、心配な方は相談に応じるというものでした。

要望 実施しないのであれば、議員提案で補正予算を組んだらいいのでは。

回答 議員提案で補正予算を組んでも、予算の執行権は首長にあります。

(議会運営委員会)

町政に関する質問・意見・要望

公園にトイレの設置を

要望 葛岡山公園にトイレを整備してほしい。

回答 必要性は理解できません。町執行部に伝えま



葛岡山公園

船岡中学校
南側フェンスは

意見 船岡中学校南側フェンスは、どこからでも人が入れる。また、雑草も伸び放題である。

回答 文教厚生常任委員会が現地調査を実施しました。学校からの意見や要望を聞き、改善するよう町執行部に伝えました。

(文教厚生常任委員会)

Jアラートを
もっと分かりやすく

要望 Jアラートのエリアメールで、「頑丈な建物や地下に逃げなさい」とあるが、どこに行けばいいのか。表現をわかりやすくしてほしい。

回答 ミサイルに関してのエリアメールは、国の消防庁が対象地域に一斉送信するもので、町では表現を変更することはできません。(総務常任委員会)

歩道のわだち解消を

要望 船迫中学校の裏通りの歩道は、わだちなど舗装の傷みがある。中学生がランニング中に転んだりするおそれもあることから、歩道用ではなく



傷みがはげしい町道

車道用の舗装にしてほしい。

回答 現地を調査しました。意見のとおり道路の傷みが激しいので、町執行部に伝えます。(産業建設常任委員会)



船岡中学校 防球ネット

12月20日(水)
第2回公開議員研修会を開催しました!

演題: 石巻から生まれた『コミュニティ・カーシェアリング』
~支え合いの地域づくりから始まる外出支援活動~

講師: 吉澤 武彦氏 (一般社団法人 日本カーシェアリング協会)

会場: 柴田町保健センター 4階



東日本大震災後、石巻で活動している吉澤武彦氏は、仮設住宅において、コミュニティづくりと移動支援活動を行なっている。最初は、元・神戸元気村代表の故山田和尚氏の勧めで始めた。地震や津波で車が流れ交交通手段がなくなった住民の足として、地域で運営できるカーシェアリングを始めたが、実際は車があることによって外出のきっかけが作られ、新たなコミュニティが生まれた。一昨年発生した熊本地震においてもその活動を行っている。

察報告

2年に1度先進地に学び、町政へ反映します

総務 常任委員会

10月10日~12日

島根県雲南市
島根県江津市
広島県広島市

島根県雲南市

空き家を活用した移住定住政策
地域活性化政策について

雲南市では総合計画において継続的な人口の社会増を目標に掲げ、専門部署である「うんなん暮らし推進課」を新設するなど、人口減少対策に積極的に取り組んでいる。移住定住の専門スタッフ（定住企画員、定住推進員）や地区の自治組織に定住協力を配置するなど、官民が連携したきめ細かな体制をとっている。早くから取り組んでいる雲南市でも年々老朽化する空き家が増加しており、本町も早急に対策が必要と感じた。

島根県江津市

空き家を活用した移住定住政策・地域活性化政策について

江津市は空き家を「地域資源」とみなし、地方創生の柱として対策を進めていた。全国的に行われている空き家に移住者を呼び込むという対策から一歩進んだ自ら働く場を生み出せる人材を誘致する「ビジネスプランコ

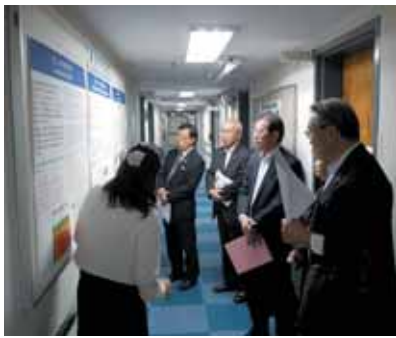
ンテスト」の取り組みは、移住のネックとなる雇用問題の解決だけでなく、まさに新たな活気を生み出す相乗効果もあり、本町においても大いに参考となる事例だった。

広島県広島市

(1)放射線影響研究所の施設について

(2)東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能汚染の影響について

放射線の種類や性質、放射線被ばくに関する考え方について学んだ。原爆被ばく者のデータは現在でも調査研究が進められており、専門機関においてもいまだ放射線の影響について未知の部分が多いことを実感する。放射線による人体への影響については疫学的観点からは不透明な点も多くあることがわかった。



広島市放射線研究所

文教厚生 常任委員会

10月31日~11月2日

岡山県和気町
岡山県総社市

岡山県和気町

人口減少対策として「教育」を地方創生の柱に据え、子育て世代の移住促進を図っている。

(1)無料の公営塾 町内の小・中学生を対象に、無料で英語が学べる公営塾を開講している。授業の進行や運営面は地域おこし協力隊が中心となって進めており、地元の大學生や外国人留學生、ALTも講師として参加している。

(2)英語特区の導入 文部科学省より、教育課程特例校指定(英語特区)を受け、町内の全ての小・中学校で独自のカリキュラムを導入し、子どもたちが4技能(聞く・話す・読む・書く)をバランスよく身に付けるための英語教育を行っている。

(3)その他 放課後学習支援、和気町子ども塾など子育て支援に関する事業を行っている。

若い世代が住む場所を検討する際に重視する教育・保育環境の充実で平成28度の移住者数は、前年度の約3倍となり、うち7

割が子育て世代となり、人口減少の歯止めになっている。



岡山県総社市

岡山県総社市

「子育て王国そうじゃ」として「政策の優先順位を決める際は子どもを最優先にする」と掲げている。行政だけではなく、まち全体で子育てを支えるという理念に基づき様々な事業に取り組んでいる。

市内にある県立大学の専門知識や施設を活用した親子交流の場の「チュッピーひろば」や子育て支援者向けの研修会、情報交換会を行っている。

庁舎内においても子育て・教育に関する担当課がワンフロア化されており、手続きがワンストップで済み、さらに職員も情報が共有しやすいとのことだった。

常任委員会行政視

産業建設 常任委員会

10月11日~13日

長野県飯田市
岐阜県高山市
岐阜県郡上市

長野県飯田市
南信州観光公社のDMOの取り組みについて

南信州観光公社は、2001年に飯田市などが出資し、体験型観光を目的にした第3セクターの株式会社である。飯田市は観光事業を通過型観光から滞在型観光に転換することとした。滞在型としては体験教育旅行誘致事業にターゲットを絞り、高校の受け入れが決まったのが始まりである。地元を知り、地元の人と連携ができていることが飯田市の観光のベースとなっている。事業の課題を分析し、新企画を立案できる体制づくりと人材育成の重要性を学んだ。

岐阜県高山市
インバウンド事業の取り組みについて

国内の観光客が今後減少するであろうとの危機感から海外からの誘客に取り組むのが始まりだった。市内の町並みは「重要伝統的建造物群保存地区」に認定されている。街路はバリアフ



岐阜県高山市

リー化されている。景観や雰囲気も観光の主な要素であるとの観点から町の色使いや形の統一は本町でも参考になると思われた。国外からの観光宿泊者は10年で4・3倍となっている。どの程度の経済効果があったかが政策の有効性の指標となると考えられる。

岐阜県郡上市
子どもの農山漁村交流の状況とグリーンツーリズムの取り組みについて

グリーンツーリズムは「農山漁村で楽しむ・ゆとりある余暇活動」として農水省が導入してきた。当初の目的は生産者の所得増であったが、観光という分野でふえてきている。グリーンツーリズムやアグリツーリズムの運用はこれまでの組織とは違った仕組みを検討しなければならない。

議会運営 委員会

7月12日~14日

岩手県紫波町
岩手県久慈市

岩手県紫波町

・議員間討議について
・その他議会改革全般について
紫波町の議員間討議は予算・決算の審査においてシステムチックに組み込まれていた。紫波町のやり方は、議会に普段から議論をする習慣を根付かせるための方法として非常に有効である。

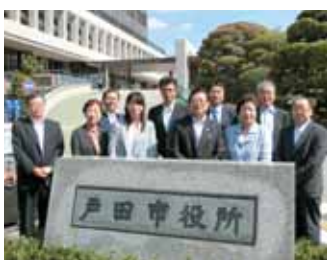
議会広報 常任委員会

9月28日・29日

平成29年度町村議会
広報研修会(東京都)
埼玉県戸田市

平成29年度町村議会広報研修会
研修会では次のことを学んだ。

- ① 「議会広報紙の文章」「伝える広報」から「伝わる広報」へ」
- ② 「議会広報 広報紙×電子広報 何がどう変わってきた！」
- ③ 「優秀賞受賞紙から学ぶ」
見やすい、読みやすい、わかりやすい文章の書き方を学んだ。



埼玉県戸田市

埼玉県戸田市

予算マップや議会モニター制度など、参考となる取り組みがあった。住民参加型の議会を進めていくうえで住民の意見を反映できるモニター制度は重要であると考えた。



岩手県久慈市

岩手県久慈市

・議会災害時対応マニュアルを活用した議会としての災害時対応について
・その他議会改革全般について
ICTを活用した独自の災害時対応など、市民に開かれた議会を目指す先進的取り組みを学んだ。

？ なった

テーマ：地域おこし協力隊

常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。

今回は、平成28年度から委嘱している「地域おこし協力隊」を紹介します。

地域おこし協力隊導入の経緯

平成21年 総務省
地域おこし協力隊制度が始まる



平成26年12月会議 一般質問
問 「地域おこし協力隊」を導入すべきでは
答 槻木まちづくり研究会をもとに、槻木地区を重点的に活動していく形で進めていきたい



平成27年7月 総務常任委員会所管事務調査
七ヶ宿町に行政視察



平成27年11月(主に柴田小学校区で活動)
1人を地域おこし協力隊に委嘱(委嘱期間終了)



平成28年12月
2人が地域おこし協力隊に委嘱(現在に至る)

■ 活動内容

地域資源を活かした交流人口の増加・定住の実現を目指すフットパスによるまちづくり

- フットパス事業の定着化
- フットパス活動組織の設立
- コースの開発
- 新規イベントの企画実施など

■ 活動内容

地域力を高めるための協働のまちづくり推進活動

- 柴田町まちづくり推進センター運営支援
- 地域活動の提案と実践
- 地域イベントの推進など

上記以外にも多くの活動をしています

地域おこし協力隊って？

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化などの進行が著しい地方に地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲のある都市住民のニーズにこたえながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とし、平成21年に総務省によって制度化されたものです。

主な活動内容は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行うものです。

です。

隊員の期間は概ね1年以上最長3年までとされています。

柴田町議会では、一般質問や総務常任委員会として、七ヶ宿町で取り組んでいる地域おこし協力隊について、行政視察を行うなど、地域おこし協力隊への勉強を重ねてきました。

本町では、平成27年11月からの制度を導入しました。現在は、平成28年12月1日に委嘱された、2人の地域おこし協力隊が2年目を迎え、活動中です。



フットパス事業(船迫地区)

「追跡」あれはどう



きたうら あきひさ
北浦 鑑久さん

町の重点施策、フットパスの推進に取り組んでいます！



さとう しょうた
佐藤 祥多さん

地域活動の提案と実践、情報発信に取り組んでいます！



町の情報を発信しているフェイスブック

地域おこし協力隊に聞きました!!

【北浦】 柴田町に来る前は、秋田県由利本荘市でフットパスにかかわる仕事をしていました。日本フットパス協会の方から柴田町を紹介していただき、2つ返事で柴田町にきました。

【佐藤】 以前は映像関係の仕事をしていました。全国をヒッチハイクしていた時に乗せていただいた方が柴田町の人だったということで、なにか恩返しができないかなという思いから応募しました。

【北浦】 フットパスを中心に活動しています。主な業務内容は、データをまとめる、フットパスマップの作成やイベントの下準備などを行っています。

【佐藤】 良い人が多いと感じます。特におじさんたちが良いです。とても良くしていただいています。地域に住んでいる若い人も交流をもちたいです。

【北浦】 フットパスの全国大会に向けて活動しています。

【佐藤】 おじさんコンテストをやりたい！

コースの確認や意見のすり合わせをしています。

【佐藤】 地域活動団体への支援が主な活動になっています。また町の情報発信を定期的に行っています。フォロワーを来年3月まで1千500人にすることが目標です。

【北浦】 イベントを通して、地域の方のお手伝いができるばと思っています。

【佐藤】 良い人が多く感じます。特におじさんたちが良いです。とても良くしていただいています。地域に住んでいる若い人も交流をもちたいです。

【北浦】 フットパスの全国大会に向けて活動しています。

【佐藤】 おじさんコンテストをやりたい！

【北浦】 フットパスの全国大会に向けて活動しています。

きます。楽しんで、ふれあい、町のいいところの再認識をしてもらえそうな大会にしたいです。

平成30年11月3、4日開催予定です！
最後に

よく「まちおこし隊」と間違われます。協力隊が主体となって町を動かすのではなく、地域や関係者の方々と一緒になって、地域おこし活動をするのが仕事だと思っています。

今後ともよろしくお願ひいたします。



【議会から】 活動2年目を迎えた地域おこし協力隊。2人の若者から柴田町への熱い思いが伝わってきました。

【北浦】 フットパスの全国大会に向けて活動しています。

あなたの一言



鈴木 久雄 さん
(船岡中央 在住)

●柴田町に住んで感じたこと

私は東日本大震災による原発事故のため、福島県南相馬市から親戚のいる柴田町に避難してきました。皆さんに大変お世話になりました。

柴田町に来て最初に感じたことは、道路が悪い、放置自転車が多い、商店が少なく活気がないと思いました。

●柴田町で好きなこと

サクラ、アジサイ、マンジュシヤゲなど四季折々の花が咲き、心が癒されます。

まちづくり推進センターゆる。ぷらで私の桜の写真展を開催していただきました。

●柴田町に何を望みますか？

サクラが老木になっていきます。早急に手入れをし、若木を植えなければなら

らないのでは？

アジサイ祭り、マンジュシヤゲ祭りなどPRは良いのですが、規模が小さく、見物客も少ないですね。予算の関係もあるのでしょうが、もっと充実した花祭りにすれば良いと思います。

●議会、議員に何を望みますか？

議会だよりをみると、問題が山積みでいろいろな意見が出ているようですが若者が定住できるよう子育て支援の充実、高齢者の支援など、町民が安心して住めるようなまちづくりを期待します。

■議会より一言

ご指摘ありがとうございます。
活気にあふれた住みやすいまちづくりに努力してまいります。

未来へ向けて

表紙について



1月7日に三ヶ屋敷子ども会育成会主催で、凧づくりに挑戦。

大人も昔に戻って顔をほころばせながらアドバイスしていました。大空高く揚がった凧に歓声が沸き上がりました。

編集後記

寒さが厳しい季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。

今号の議会だよりは、12月25日から1月4日までの4日間の編集作業で作成しています。今号では、行政視察で学んだことを少しでも生かせる紙面づくりに取り組みました。これからも「わかりやすい」「読みやすい」紙面づくりに邁進してまいります。

議会では、昨年度から始まった柴田高校生との団体懇談会や今年度6月会議からの議会中継など新たなことにも取り組んでいます。いち早く皆様にお伝えできるよう努めてまいります。

議会広報常任委員 平間 奈緒美

「議会ネット中継」へのQRコード

※詳しくは、柴田町ホームページを参照してください。



ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

3月会議は
3月5日(月) 午前9時30分開会予定
一般質問は
3月5日(月)・6日(火)・7日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページに本会議審議等結果を掲載

各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員(委員)の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会

検索

柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより159号は、約16,070部作成しています。1部当たりの経費は約37円です。